

『三合便覧・清文指要』校注(5)

竹越 孝

[承前]

mbi. 語畢虚結，乃現在未然之詞也。若整字與 rakū 等字之下，則用 ombi. 如云：(19a8-19b1)

we simnembi.

誰 受験する

誰考。(19b1)

bi simnembi.

私 受験する

我考。(19b1-2)

amaga inenggi urunakū hūwašambi. toktofi simneme dosimbi.

後の 日 必ず 成就する 必ず 受験して 入る

日後必有出息，定然考中。(19b2-3)

malhūšaci elgiyen ombi. mamgiyaci tesurakū ombi.

儉約すれば 豊か になる 浪費すれば 足りなく なる

儉則有餘，奢則不足。(19b3-4)

若述古人之行事，則用 mbihebi. 如云：(19b4-5)

lio hiya hūi sain be gidarakū. sain be sabuci. urunakū tukiye mbihebi.

柳 下 惠 賢 を 隠さず 賢 を 見れば 必ず 挙げていた

柳下惠不隱賢，見賢必舉。(19b5-7)

me. 着字，乃語氣未完，述事未足，直接下文之詞也。若整字 rakū 等字之下，則用 ome. 如云：(19b8-20a1)

bithe de forome hergen be tolome. yasa tuwame gala jorime

書 に 向かい 字 を 数え 目 見て 手 指し

urebume hūlambi.

熟して 読む

向着書，數着字，眼看着手，指着熟讀。(20a1-3)

ijishūn ome mutembi. jurcerakū ome mutembi.

従順 であること できる 従わない であること できる

能順，能不違。(20a3-4)

boco be buyeme same. asiha hojo be gūnmbi.

色 を 好み 知って 若く 美しいの を 思う

知好色，則慕少艾。(20a4-5)

fi. 了字，乃完畢一事，復有一事之串文也。若整字與 rakū 等字之下，則用 ofi. 如云：(20a6-7)

i emgeri safi goidaha. si kemuni alarakū ofi ainambi.

彼すでに 知って 久しい あなた まだ 告げないで いて どうする

彼已知之久矣，汝尚不告何為。(20a7-20b1)

dere sindafi. hoošan be sektefi. yuwan be obofi. behe be suifi. fi

卓 置いて 紙 を 敷いて 硯 を 洗い 墨 を 摺り 筆

ulebufi hergen arambi.

浸し 字 書く

放下棹，鋪下紙，洗了硯，研了墨，舐了筆寫字。(20b-3)

ra re ro. 此三字體異用同，叶上韻耳，後凡遇此類不贅。係未然語，若在句中作之字解；若在句尾，乃言盡而意不盡之語。若下墊 be 等字，則為平文，單用則用 ojoro. 如云：(20b4-7)

tacire doro.

学ぶ 道

為學之道。(20b7)

fusure erire acabure jabure kemun.

撒く 掃く 会う 応じる 作法

洒掃應對之節。(20b8)

bi sinde alara.

私 あなたに 告げる

吾語汝。(20b8-21a1)

erindari gelere olhoro be tebuci acambi.

時ごとに 畏れ 懼れ を 置いておく べきだ

宜時存畏懼。(21a1-2)

akū oci cihai balai ojoro be dahame. efujere gukure ci guweme

でない ならば 思いの まま になる の だから 敗れ 亡くなる から 免れること

murerakū ombi.

できなく なる

不然則放肆，而不免於敗亡矣。(21a2-4)

ka ha ko ho ke he. 此六字體異而義同，叶上韻耳，後凡遇此不贅。係已然語，若在句中作之字解；若在句尾作了字解。單用則用 oho. 如云：(21a5-7)

hafuka niyalma taciha saisa duleke aniya hebešehe bodogon jongko

達 人 学 士 去 年 協議した 計謀 提起した

baita. boljoho gisun i songkoi yabuha.

事 約した 言葉 に よって 行った

達人學士，照去年所議之謀，所提之事，所約之言，施行矣。(21a7-21b2)

gemu emu adali banin salgabuha arbun banjinaha bime ememungge

みな 一 様に 性質 賦与し 形 なして いて ある者

mergen oho. ememungge dursuki akū oho.

賢く なった ある者 似て いない なった

均是賦性成形，而或賢矣，或不肖矣。(21b2-4)

habi. 等字，意盡詞盡，已然之結尾也。單用則用 ohobi. 如云：(21b5-6)

falanggū be jorihabi.

掌 を 指している

指其掌。(21b6)

amba ajige songkolohobi.

大 小 倣っている

小大由之。(21b7)

abkai fejergi de ejen ohobi.

天の 下 に 君 となっている

為天下君。(21b7)

ki. 請命之詞，單用則用 oki. 如云：(21b8)

ere gisun be uileki.

この 言葉 に 仕えたい

請事斯語矣。(21b8-22a1)

bi jafara de oki.

私 執るの に なりたい

吾執御矣。(22a1)

ki sembi. 欲也，乃期於如是之詞也，單用則用 oki sembi. 如云：(22a2-3)

gosingga dasa be yabubuki sembi.

仁 政 を 行いたい と思う

欲行仁政。(22a3)

bi gisurerakū oki sembi.

私 言わなく なりたい と思う

子欲無言。(22a3-4)

ci. 如、若、則，即上工夫以起下效驗之詞也，單用則用 oci. 如云：(22a5-6)

tuwakiyaci taksimbi. waliyaci gukumbi.

守れば 生存する 捨てれば 亡くなる

操則存，舍則亡。(22a6-7)

jalu oci ekiyembi. gocishūn oci nonggibumbi.

満ちる ならば 減る 謙虚 ならば 増やされる

滿招損，謙受益。又有數解：(22a7-8)

一解自從由，如云：(22b1)

julgeci absi.

古くから 以来

自古以来。(22b1)

aibici jihe.

どこから 来た

奚自。(22b1-2)

ereci julesi.

これから 以後

嗣後。(22b2)

一解比較，如云：(22b3)

minci ahūn.

私より 年長だ

比我長。(22b3)

sinci eberi.

あなたに 及ばない

比你不及。(22b3-4)

一解次第，如云：(22b5)

si uduci debi.

あなた 何番目 にいる

你在第幾。(22b5)

bi jakūci debi.

私 八番目 にいる

我在第八。(22b5-6)

一解懸揣上文，的確下文之詞也，如云：(22b7)

mengdz liyang hūi wang de acanaci. wang omoi jakade ilihabi.

孟子 梁 惠 王 に 会いに行くと 王 沼の 所で 立っていた

孟子見梁惠王，王立於沼上。(22b7-23a1)

ilan nofi de genefi alaci ojarahū.

三 人 に 行って 告げては ならない

之三子告不可。(23a1-2)

babade baici fuhali baharakū.

方々で 求めても 全く 得られない

各處求之，竟莫之得。(23a2-3)

geli kimcime baicaci butu bade somihabi.

また 詳しく 調べたら 暗い 所に 隠していた

復詳察之，乃隱於暗地。(23a3-4)

dosici encehen akū nakaci hairaka.

進めば 能力 なく 退けば 惜しんだ

進之無力，退之可惜。(23a4-5)

一解等第，如云：(23a6)

aici jergi niyalma.

第何 等 人

何等人。(23a6)

gemu weci.

全部で 誰々

都是誰們。(23a6-7)

[待続]